

2018/2019 FIS ワールドカップ派遣選考基準

2018年7月23日現在

2018年10月17日更新

2018年10月22日更新

2018年11月8日更新

2018年12月30日更新

略称/WC：ワールドカップ、GP：サマーグランプリ、COC：コンチネンタルカップ、
EC：ヨーロッパカップ、Nor-Am：ノースアメリカンカップ

●派遣選考基準（スキージャンプ／男子）

【サマーシーズン】

① COC クラニスカ・ゴラ大会／FIS Cup

選考基準：前シーズン COC ランキング上位3名（COC クォータ枠を確保するため）

派遣選手：岩佐勇研、中村直幹、佐藤幸椰

② GP ヴィスワ大会／ヒンターツァルテン大会／

アインジーデルン大会／クーシュベル大会

選考基準：強化指定選手から5名（GP/WC クォータ枠を確保するため）

遠征の効率を考え、①COC／FIS Cup 派遣選手はそのまま参戦

派遣選手：小林潤志郎、原田侑武、岩佐勇研、中村直幹、佐藤幸椰

③ GP 白馬大会

選考基準：GP 前に選考会を実施し、クォータ数の選手を選出

選考会参加資格：過去2年間にGP/WC/COC ポイントを取得した選手

小林潤志郎、小林陵侑、葛西紀明、竹内択、佐藤幸椰、伊東大貴、
中村直幹、作山憲斗、岩佐勇研、原田侑武、伊藤謙司郎、内藤智文、
栃本翔平、伊藤将充、鈴木翔、山田勇也

実施日時と方法：8月22日18時試技開始予定。試合形式で2本の合計からリザルトを
出し、上位11名（クォータ数）がGP 白馬大会に参戦

④ GP チャイコフスキー大会

選考基準：ビザ取得手続きがあるため、②の選手を派遣することとする

⑤ GP ラスノフ大会／リベレツ大会／ヒンツェンバッハ大会／クリンゲンタール大会

選考基準：GP 白馬大会後、コーチ会議を実施。GP 白馬大会上位選手のクォータ数を
派遣。ただし、クォータ枠確保を優先する必要がある場合は考慮する。

⑥ COC スタムス大会／オスロ大会／ザコパネ大会／クリンゲンタール大会

選考基準：⑤で選出した選手以外の上位からクォータ数

【ウィンターシーズン】

① WC ヴィスワ大会／ルカ大会／ニズニー・タジル大会／ ノイシュタット大会／エンゲルベルグ大会

選考基準：第97回全日本スキー選手権大会（2018年10月27日～28日）後、コーチ会議を実施。

- －全日本選手権大会ラージヒル優勝者（ウィンド・ゲートファクターを使用した場合のみ適用）
- －前シーズンWCランキング上位からクォータ数。ただし、クォータ枠確保を優先する必要がある場合は考慮する。

② COC リレハンメル大会／フィンランド

選考基準：－①で選出した選手以外の前シーズンWCランキング上位1名

- －①で選出した選手以外のGPランキング上位選手（クォータ数）

③ WC オーベルストドルフ大会～ザコパネ大会

選考基準：WCランキング上位からクォータ数

④ COC エンゲルベルグ大会～ビショフショフェン大会

選考基準：COCランキング上位（最大4名を派遣）

⑤ COC 札幌大会

選考基準：COC前に選考会を実施し、クォータ数の選手を選出

選考会参加資格：該当する冬シーズンの国内大会の優勝者

過去2年間にGP/WC/COC/FIS Cupポイントを取得した選手

実施日時と方法：COC大会前に開催。日時、選手名は全日本選手権大会後のコーチ会議で決定する。試合形式で2本の合計からリザルトを出し、上位からクォータ数の選手を選出する。

⑥ WC 札幌大会

選考基準：－現行シーズンのWCポイント取得者

- －COCランキング上位選手
- －GPランキング上位選手
- －上記、基準でクォータ数に満たない場合、国内ランキング上位選手を出す

⑦ WC オーベルストドルフ大会～ヴィリンゲン大会

選考基準：ジャンプ週間後に選手選考

- －WCランキング上位選手

⑧ 世界選手権大会／WC RawAir シリーズ／プラニツァ大会

選考基準：WC札幌大会後、コーチ会議を実施

- －WCランキング上位5名

※WC遠征中に思うような結果が得られない選手がいる場合、また負傷した選手がいる場

合、Division.1 担当理事、強化委員長の承認を得て、選手の入れ替えを行うこととする。

●派遣選考基準（スキージャンプ／女子）

1. 第1次ジャンプ女子遠征（GP ドイツ大会／フランス大会）

以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する
(派遣人数最大6枠)

- ① 2017/2018 シーズンの WC スタンディングス 30 位以内の競技者
- ② 2018 ジュニア世界選手権で 10 位以内の日本人最上位の競技者

2. 第2次ジャンプ女子遠征（GP チェコ大会）

以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する
(派遣人数最大6枠)

- ① SAJ 強化指定の S ランク及び A ランクの競技者
- ② サンピラー国体記念第 16 回サマーjump大会（2018 年 7 月 29 日）の優勝者
- ③ 同大会の競技結果を WC ポイントに換算し、①②の選考基準を満たさない上位競技者
※優勝者が複数人の場合とポイントが同点の場合には飛距離得点が高い競技者を上位とする

3. 第3次ジャンプ女子遠征（GP ロシア大会）

8 月 6 日（月）に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する（派遣人数最大6枠）

- ① SAJ 強化指定の S ランク及び A ランクの競技者
- ② 2018 GP ポイント取得者
- ③ 第 36 回札幌市長杯宮の森サマーjump大会及びチャレンジカップ 2018 サマーjump大会（2018 年 8 月 4 日～5 日）の優勝者
- ④ ・サンピラー国体記念第 16 回サマーjump大会（2018 年 7 月 29 日）
・第 36 回札幌市長杯宮の森サマーjump大会及びチャレンジカップ 2018 サマーjump大会（2018 年 8 月 4 日～5 日）
の競技結果を WC ポイントに換算し、①②③の選考基準を満たさない上位競技者
※優勝者が複数人の場合には飛距離得点が高い競技者を上位とする。ポイントが同点の場合は最高順位が高い競技者を上位とする

4. 第4次ジャンプ女子遠征（COC ノルウェー大会）

以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する
(派遣人数最大3枠)

- ① SAJ 強化指定の S ランク及び A ランクの競技者
- ② 2018 ジュニア世界選手権で 10 位以内の日本人最上位の競技者
- ③ 本年度強化指定選手の中で WC ポイントを保有していない COC ポイント未取得者及び有効期限が切れる競技者

5. 第5次ジャンプ女子遠征 (GP ドイツ大会)

9月10日(月)に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する(派遣人数最大6枠)

- ① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者
- ② 2018 GP ランキング上位競技者

6. 第6次ジャンプ女子遠征 (WC ノルウェー大会/ドイツ大会/フランス大会)

10月29日(月)に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する(派遣人数最大6枠)

- ① SAJ強化指定のSランク及びAランク選手の競技者
- ② 第97回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会(2018年10月27日)の優勝者及び派遣設定記録を満たした上位競技者
- ③ 2018 GPにおいて8位以上の成績を収めた競技者。ただし、2017/2018 WC スタンディングス上位10位以内の選手が50%以上出場した場合に限定する

7. 第6回・第7回ジャンプ女子国内合宿 (WC 札幌大会/蔵王大会)

1月7日(月)に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する(派遣人数最大12枠)

- ① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者
- ② 第6次ジャンプ女子遠征派遣競技者
- ③ 参加資格のあるすべての競技者の中より、
 - ・第97回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会(2018年10月27日)
 - ・第49回名寄ピヤシリジャンプ大会及び第34回吉田杯ジャンプ大会(2018年12月15日~16日)
 - ・第60回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会(2019年1月5日)の結果をWCポイントに換算し、①②の選考基準を満たさない上位競技者。ポイントが同点の場合は最高順位が高い競技者を上位とする

8. 第7次ジャンプ女子遠征 (世界選手権大会/WC ルーマニア大会/オーストリア大会/スロヴェニア大会/ドイツ大会)

1月7日(月)に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する(派遣人数最大5枠)

- ① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者
- ② 2018年12月16日のWC終了時点のWCスタンディングス上位4名を選考する。

※エントリー期限により、選考日及び選考人数に変更の可能性もある。

※世界選手権大会において女子団体戦が実施される場合は5名の派遣

9. 第8次ジャンプ女子遠征 (ジュニア世界選手権大会/フィンランド)

1月7日(月)に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する(派遣人数最大4枠)

① 第6次ジャンプ女子遠征派遣競技者

② SAJ強化指定U20の選手の中で、

・第97回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会（2018年10月27日）

・第49回名寄ピヤシリジャンプ大会及び第34回吉田杯ジャンプ大会
（2018年12月15日～16日）

・第5回国内合宿記録会

・第60回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会（2019年1月5日）

の結果をWCポイントに換算した上位競技者。ポイントが同点の場合は最高順位が高い競技者を上位とする

※補欠は選考しない

10. 第9次ジャンプ女子遠征（WCノルウェー大会／ロシア大会）

2月18日（月）に、以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する（派遣人数最大6枠）

① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者

② 1月20日（日）のWC終了時点のWCスタンディングス30位以内の競技者

③ 2019ジュニア世界選手権個人戦において、10位以内の成績を収めた日本人上位競技者

11. 第10次ジャンプ女子遠征（FIS CUP）

以下の選考基準に基づきジャンプ強化委員会で選出し強化部及び競技本部へ推薦する

*2019シーズンのGPが7月に開始される場合は本事業にて実施する

① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者

② 2019ジュニア世界選手権で10位以内の日本人最上位の競技者

*2019シーズンのGP開幕が8月以降の場合は、7月に開催されるFISカップ派遣に本事業を適用させる

① SAJ強化指定のSランク及びAランクの競技者

② 2019ジュニア世界選手権で10位以内の日本人最上位の競技者

③ 2019/2020シーズンの強化指定選手の中で、ワールドカップポイントを保有していないFISカップポイント未取得者及び有効期限が切れる競技者

●派遣選考基準（ノルディックコンバインド）

FISの定める基準に基づき、強化スタッフが推薦し、担当理事が承認した選手を派遣する。

●派遣選考基準（クロスカントリー）

① SAJ強化指定選手

② -1：第1ピリオドのみ

・FISポイント男子50点以下、女子85点以下

- ・かつ当該シーズンの FIS レースで男子 50 点以下、女子 85 点以下を獲得した選手より 1~2 名を第 2 戦または第 3 戦に出場する機会を与える。複数の場合、直前の FIS レースより選考

- ② -2：第 2 ピリオド以降については第 1 ピリオド後に再検討
ただし、FIS ポイントを重視する（エビデンス算出中）

●派遣選考基準（アルペン）

- ① 2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手より大会派遣する
- ② 第 97 回全日本スキー選手権大会アルペン競技・技術系（2018 年 12 月 26 日～28 日）
優勝者より大会派遣する

※出場選手は①及び②の対象選手よりナショナルチームが決定する

●派遣選考基準（フリースタイル／モーグル） ※2018 年 12 月 30 日更新

- ① 2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手の中から、
 - ◆2018 年内の WC
 - ・2017/2018 シーズンの WC で予選を通過した者
 - ・2017/2018 シーズンの Nor-Am で 3 位以内に入った者
 - ・2017/2018 シーズンのジュニア世界選手権大会で 3 位以内に入った者
 - ◆2019 年 1 月 1 日以降の WC
 - ・2018/2019 シーズンの WC で予選を通過した者
 - ◆国内田沢湖 WC
 - ・ワールドカップ選考会（2 月 2 日 2019 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会モーグル種目）で 6 位以内に入った者
- ② 国内開催の WC については、一般競技者の中から 2018 年 12 月末日時点の FIS ポイントリストで 100 ポイント以上保持している者で、ワールドカップ選考会（2 月 2 日 2019 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会モーグル種目）で 3 位以内に入った者

●派遣選考基準（フリースタイル／エアリアル）

- ① FIS ポイント 100 点以上の者
- ② U24 の選手又は種目転向強化指定選手で FIS ポイント 50 点以上 100 点未満の者のうち、男女上位各 1 名

※上記のいずれかを満たした選手

●派遣選考基準（フリースタイル／スキークロス）

2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手 S、A、U、W ランクの選手の中から、以下の

内いずれかの条件を満たす者

- ① FIS レース、EC 問わず、ヨーロッパでのレースにおいて、順位を問わず 125 ポイント以上獲得した選手
- ② 北米、オセアニアの COC において、3 位以内かつ 170 ポイント以上取得者
- ③ SAJ 強化指定選手の中で、男子 3 名以上、女子 2 名以上の 125 ポイント保持者がいる場合、対象者を出場可能とする

※対象者がクォータを超える場合は上記①②③の優先順位とする

●派遣選考基準（フリースタイル／ハーフパイプ、スロープスタイル、ビッグエア）

【2018 カードローナ（ニュージーランド）ビッグエア大会／2018 年 9 月 5 日～7 日】

2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定 S ランク、A ランク、U ランクの選手うち、指定順に選出する

【以降の大会について】※2018 年 10 月 22 日更新

＜ハーフパイプ、スロープスタイル＞

2018/2019 シーズンの強化指定選手の中で FIS ポイントを 50 ポイント以上取得している者の中から

- ①S ランク、A ランク、U ランクの順に選出する
- ②同ランク選手内では大会ごとに指定する FIS ポイントリストのポイント順で選出する

※ただし、対象大会はチームが派遣する WC とし、各大会に応じた出場人数を定める

＜ビッグエア＞

スロープスタイルと同じ開催地で行われるビッグエアに限り、選手の派遣を行う

- ①スロープスタイルへ派遣された者の中から FIS が定めるビッグエア出場基準を満たした者

●派遣選考基準（スノーボード／アルペン）

- ① 2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定 A ランクの選手
- ② 2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定 U ランクの選手のうち、2018/2019 シーズンのパラレル種目 FIS ポイントリストにおいて、120 ポイントにランクされた選手は、3 戦の出場を認める

※スタートは次のシーズンに移行することはできない

※チームイベントは対象外とする

●派遣選考基準（スノーボード／スノーボードクロス）

2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定 S、A、W、U ランクの選手の中から、以下のいずれかの条件を満たす者

- ① 2017/2018 シーズンの WC において予選を通過した者
 - ② 115 ポイント以上を保持している者
 - ③ 当該年度において 115 ポイント／1 戦を獲得した者
- ※対象者がクォータを超える場合は上記①②③の優先順位とする

●派遣選考基準（スノーボード／ハーフパイプ）

- ① 2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定 S、A、U ランクの選手のうち、指定順に選出する。ただし、U ランクの選手は、2018 ジュニア世界選手権ニュージーランド大会において 3 位以内に入賞した者のうち日本人最上位選手とする

●派遣選考基準（スノーボード／スロープスタイル・ビッグエア）

【2018 カードローナ（ニュージーランド）ビッグエア大会／2018 年 9 月 5 日～7 日】

2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手 S、A、U ランクの選手うち、指定順に選出する

【以降の大会について】※2018 年 10 月 18 日更新

- ①2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手 S、A ランクのうち、各 WC の Provisionally Entry Deadline に有効な種目別 WSPL ランキングの高い順に選出する
- ②2018/2019 シーズンの SAJ 強化指定選手 U ランクのうち、シーズン中 A ランクに準ずる成績を収めた者は①の基準適用対象とする
ただし、対象大会はチームが派遣する WC とし、WC クォータ内での選出とする